

こんにちは、ようこそ!

発音を聞き、字幕を読み、視聴後、単語や文章を1度だけではなく2度リピートしましょう! 簡単に記憶し、学習できるため、すぐに話せるようになります!

多くの人がSpeakit.tvを新しい言語の基本をマスターするお気に入りの方法として選んでいます。この機会をお見逃しなく!

主な詳細:

- さまざまな日常生活の状況に対応する20本の動画エピソード。
- 2.5時間のプラクティスと役に立つ600単語とフレーズはいかなる日常生活にも適用可能です。全て日本語のガイダンス付きです。
- 画面上に（必要に応じて）翻訳と原文が表示されます!

本コースは言語の基本知識を習得したい初心者向けに制作されています。

楽しんで学習してください!

各々のSPEAKIT言語学習コースには以下のトピックがあります:

前書きと序文

1. 知っておくべきこと
2. 話し始め
3. いくら、いくつ?
4. 一般的な質問
5. 重要な言葉
6. 形容詞
7. 数
8. 色
9. 曜日
10. 時間を知る
11. 個人情報
12. ホテル
13. レンタカー
14. 友達と仕事
15. 新しい言語
16. 電話での会話
17. レストランと食べ物
18. タクシー
19. 公共交通機関
20. 買い物



1. どうか

Things you need to know

1.

はい。同意・賛同の言葉から始めるのはいいことです。はい

Yes

2.

快く「はい」とばかり受けるわけにはいきませんよね。「いいえ」ときっぱり断りましょう。いいえ

No

3.

「はい」と「いいえ」を覚えたら今度はお願い事をするためにこう言いましょう。どうか・お願いします

Please

4.

もしお願いしたものが貰えたらお礼を言いたいですよね。そんな場合はこう言いましょう。ありがとう

Thank you / Thanks

5.

もっと丁寧にお礼がしたい場合はこう言いましょう。どうもありがとう

Thanks a lot

6.

お礼を言われた人はきっと「いいのよ」・「気にしないで」もしくは謙虚にこう返事するでしょう。

どういたしまして

You're welcome

7.

さあ、これで皆さん言葉を組み合わせることが出来ますね。言ってみましょう。はい、お願いします。

8.

もしくは、いいえ、結構です。

No, thank you

9.

「すみません」は面白い表現ですよ。丁寧に言いたいときや誰かの注意を引きたい時、お願いをしたい時などいろいろと使えます。例えば、「すみません、あなたは私の足を踏んでいますよ！」—すみません

Excuse me

10.

許して欲しい時もありますよね。「あら、許してください。そんなつもりはなかったんです！」もし間違っって傷つけてしまったらこう言えますね、許してください

I beg your pardon

11.

もしストレートにお詫びの言葉を言いたい場合は、ごめんなさいといきましょう。ごめんなさい

Sorry

12.

そしてもし何も問題がない場合はこう言えますね。大丈夫です

It's okay

13.

さて、ではデートをしたくなったらどう言いましょうか？ まずは挨拶からですよ。こんにちは

Hello

14.

そしてお別れの時間が来たらこう言いましょう。楽しかったです。また会えるといいですね。さようなら

Goodbye / Bye

15.

時には本当にまた会いたい人もいるでしょう。そんな時にぴったりなのが「またね」。なんにせよ試してみましよう。またね

See you / Have a nice day!

16.

不思議なことにどんな言語でも特別な挨拶が朝にはあります。朝誰かにあったらこう言いますよね。おはよう!

17.

そして午後にも特別な挨拶があります。こんにちは!

Good afternoon!

18.

そして夕方に会ったらこう言えますね。こんばんは!

Good evening!

19.

そして夜に眠くなったら? そうですね! こう言いますよ。おやすみ!

Good night!

20.

そしてぐっすり眠ったらまた新しい一日の始まりです。誰かを家に招待したいですね。友達がやって来たらこう言いましょう。ようこそ・いらっしやい

Welcome!

21.

誰かとぼったり会ったらちょっとおしゃべりをしますよね。いつも同じ返事かもしれないけど一応聞いちゃいますよね。最近どうですか?

What's new? / What's happening? / How's it going?

22.

お元気ですか?
本日はご機嫌いかがですか?

How are you today?

23.

もしくはさらっとこう言う人もいるでしょう。今日の調子はどうですか?

How are you doing today?

24.

大抵の人はそう聞いたら丁寧な返事を期待しますよね。愚痴ばかり聞くのは嫌ですからね。ですからこう言いましょう。元気ですよ。ありがとう。

Fine, thanks

25.

とても元気ですよ。あなたは怎么样了?

Everything's fine with me. What about you?

26.

そしてもし皆大丈夫でしたら、少なくとも文句を言った人がいなければ丁寧にこう言いましょう。楽しかったです。

I had a lovely time

27.

招いた側はこう返事するかもしれないですね。「喜んで」いつでも礼儀正しくするのはいいことです
ね。喜んで

It's my pleasure

28.

さて、続けて礼儀正しくいきましょう。お別れの際にはこう言ったらどうでしょう。～でありますように

I wish you...

29.

他にも「がんばって」「がんばれ」などとも言えますね。祈りましょう。幸運を祈ります

Good luck

30.

もちろん、ただ漠然とではなく絞ってみることもできますね。健康と幸せを祈ります。

Good health and happiness

31.

他の挨拶では良い休暇を！などがあります。良い休暇を！

Happy holiday

32.

そしてもちろん明けましておめでとう

Happy New Year

33.

さようならの他にもお別れの挨拶はありますよ。いってらっしゃい

Bon voyage

34.

やあ、君！何歳になったの？お誕生日おめでとう

Happy birthday

35.

そして結婚した日を祝ってこう言いましょう。結婚記念日おめでとう

Happy anniversary

36.

どうぞごゆっくりとおくつろぎください

Enjoy your stay

37.

そして、良い一日を

Have a nice day

38.

そしてこの挨拶はいつでも使えるでしょう。がんば





2. 話し始めるには

Starting to Speak

39.

外国に旅行して目的地への行き方がわからなかったら尋ねる必要がありますよね。それでは誰がどこで何をどうやってなどの質問の仕方を学びましょう。はっきり聞き取れなかった場合や理解できなかった場合はこう聞きましょう。何ですか？

What?

40.

次はこれです。誰が？

Who?

41.

さあ、便利な代名詞を覚えましょう。これで自己紹介や友達の話をする時に使えますよね。まずは第一人称です。私

I / me

42.

そして次は第二人称単数形ですね。あなた

you

43.

第一人称複数形は私達

we / us

44.

そして第二人称あなたの複数形はあなた達

45.

第三人称なら彼もしくは彼女

he, him / she, her

46.

そして彼ら・彼女ら

them

47.

全員ならどうでしょう? みんな

everybody / everyone

48.

それか誰もいない

nobody / no one

49.

時間について少し話しましょう。これは後でも出てきますよ。最初の単語は、いつ?

When?

50.

「いつ?」の問いにはいろんな答え方が存在します。もし正確な時間がわからなければ他のことに比較した言い方ができますね。「旅行の前」とか「食後」とかです。ではまずは、前

before

51.

そしてその後は、後

after

52.

「いつ?」と聞いてきた人の何人かは今直ぐと答えて欲しい人もいます。今

now

53.

でも中にはいつまでたってもやらない人もいますよね。後で

later

54.

今すぐじゃないならいつ? いつになるの? 直ぐなのかしら、それとも後ほどなのかしら? 直ぐ

sooner

55.

それとも後ほど

later

56.

もう少し複雑な表現を学びましょうか? まだです

not yet / shortly

57.

辛抱強くなければ請う言ってしまいますね。「今すぐでなければいや!」そして文句をよく言う人はこう言うでしょう。「こんにゃろ! いつもこうだ!」
いつも

always

58.

その逆なら、決して~
ない

never

59.

休んでいいですか? 少しだけ。すぐに戻ってきます。少しだけ

Just a minute!

60.

他にも質問するとき便利な単語があります。「私どうかしら?」どう

How?

61.

どうして夏はあんなに暑いのだろう? どうして

Why?

62.

どうしてと質問したら説明を期待しますよね。説明は大抵こう始まります。なぜなら

Because

63.

「どこですか」は旅行者にとってとても大切な単語です。博物館はどこですか? レストランはどこですか? どこですか?

Where?

64.

時間と同じように場所も他のものと比較してどこにあるかを説明するといいですね。塔の後ろ、博物館の前: 前

in front of

65.

逆は: 後ろ

behind

66.

探すに探した拳句、なんと目の前にありました。ここですよ

here it is

67.

GPSと違って人間は大雑把な説明をします。「ここ

にあるよ」や「あっちにいきなよ」など。ここにあってもあっちにあっても最後には見つかりますけどね。ここ

here

68.

もしくは、あっち・あちら

there

69.

大都市に訪れる人々は街全体が見渡せる高いビルに登ろうとします。でも私たちがビルに登った時には周りが雲で覆われていて何も見えませんでした。なので下に下りました。まずは上

up

70.

そして次に下

down

71.

その博物館は外観は見事でした。でも内側からは大したことありませんでした。内側

inside

72.

逆は、外側

outside

73.

テーブルの上にあるのは何ですか？ そして下には何を隠しているのですか？ ~の上に

on top of

74.

そして~の下に

underneath

75.

さらに質問したいときに便利な言葉を紹介しましょう。例えばショッピングに行ったときに店員の方がこう聞いて来るかもしれないですね。どっちですか？ ・どちらのでしょうか？

Which one?

76.

それでは店員さんを困惑させてあげましょう。これ、いや、あれ、いや、向こうのがいい！ もう直ぐ後でわかりやすいように色の勉強しますが、今はとりあえず：これ

this one

77.

そして、あれ